

大学生がエンジン





大学生との継続的な取組から生まれる新たな展開

灘区 なぎさふれあいのまちづくり協議会

大学生と日々の地域活動において

継続的な協力関係を築くことで

新たな事業と繋がりが生まれた

一口メモ

なぎさふれあいのまちづくり協議会の特色の1つは、近隣大学生と協力関係です。ここでは大学生と高齢者の交流拠点として「神大喫茶」の開催や、もちつきや夏祭り、子育てイベント等にも大学生が協力しています。

平成27年、協議会は夏休みに子どもが集まり宿題をする場を提供したいと考え、繋がりのある大学生に相談しました。結果、大学生と夏休み期間中「HATなぎさサマースクール」を開催。保護者への周知や子どもの保険加入などは協議会が、子どもたちの勉強相手・話し相手は大学生が行いました。このように、大学生と地域が継続的に協力関係を築くことで、新たな活動が可能となり、円滑に活動を開始できました。

さらに、協議会に接する機会がなかった子育て世代が協議会や地域福祉センターを知ってくれました。



寄って
たか
つて
学
習
支
援





子ども達を地域福祉センターに呼び込もう

兵庫県 荒田地区ふれあいのまちづくり協議会

小学生に、地域福祉センターを

学習室として開放し、勉強を見守ると

幅広い世代の交流に繋がっている

一口メモ

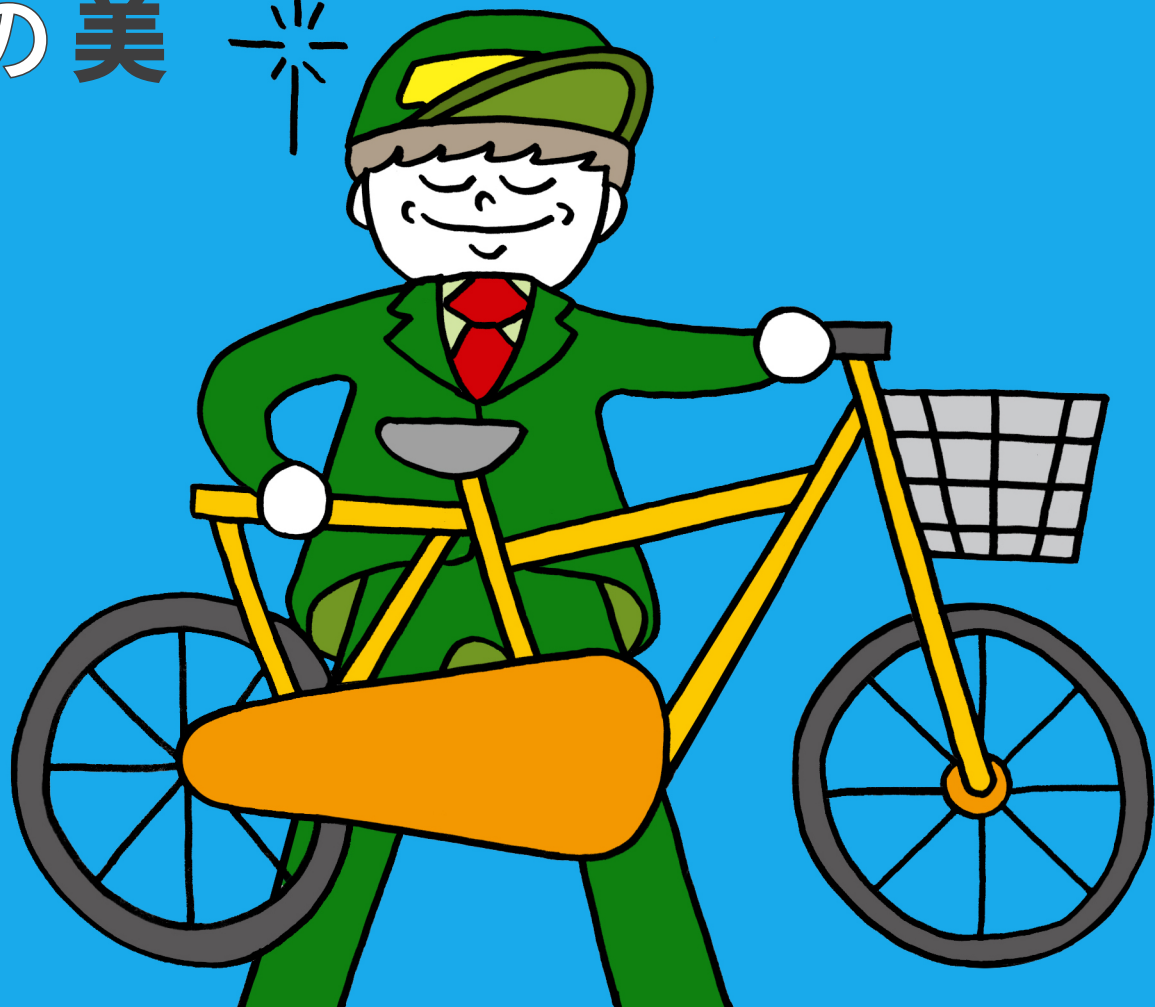
荒田地区ふれあいのまちづくり協議会では、平成 28 年 8 月より、毎週土曜日午前を「子ども学習室」として地域福祉センターを開放し、地域の子子ども達が自由に学習できる環境づくりに努めています。

学習室に通う子ども達も参加に意欲的であり、また、多くの大人に関わることで、学習への意欲や態度の向上も見られます。

さらにこの子ども達が、地域の「バザー」でワッフルの販売スタッフとしてお手伝いをするなど、地域で子どもを見守る、育てるよい環境が生まれています。



有償の美 ✨





有償ボランティアをきっかけとした地域活動の担い手確保

長田区 野田北ふるさとネット

地域の方に、駐輪場管理業務の

有償ボランティアに関わってもらおうと

他の地域活動への参加に繋がった

一口メモ

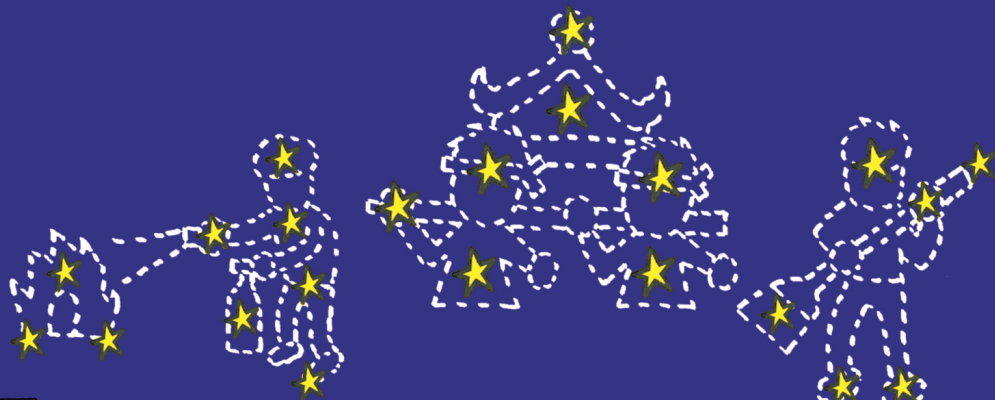
野田北部地区では、特定非営利活動法人たかとりコミュニティセンターが平成 17 年 8 月から市立鷹取駅前駐輪場の指定管理者〔平成 29 年 4 月からは野田北部自治連合会が指定管理者〕となり、地域との協働事業として、駐輪場の適切な管理や美しい駅前空間づくりに努めています。

運営上必要となる管理員〔有償ボランティア約 30 名〕については、地区内を中心に希望者を募り、約半数が地域の住民で構成されています。

駐輪場管理をきっかけに、地域のまちづくりや地域活動に関心を持ち、活動への参加や、定例会へ出席する人も現れてきており、地域の担い手発掘につながっています。



防犯パトには次がある





夏休み期間を利用した子どもたちとの防犯パトロール

須磨区 グループにここりバティー

夏休み、小学生とその保護者に

防犯パトロールに参加してもらおうと

地域活動への理解や参加に繋がる

一口メモ

地域の防犯活動団体である「グループにここりバティー」では、防犯パトロールを毎月1回40～50人規模で実施してしています。

このうち夏休み期間中の1回は、地域の小学生と保護者、中学生も自主参加し、約100人で防犯パトロールを行っています。

親子で防犯意識を高めるとともに、夏祭りやもちつき大会などの地域活動においても小中学生が積極的に手伝いに参加するなど、地域活動への理解を深めることにもつながっています。

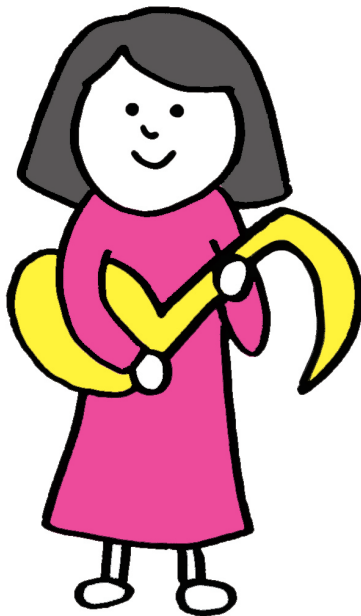


福祉は楽しい習い事

英会話



ピアノ



福祉





地域住民が発表する学びの場を継続的に実施する

須磨区 北須磨団地自治会

地域住民が中心に発表する

学習会を年2回実施すると

地域活動への参加意欲が高まる

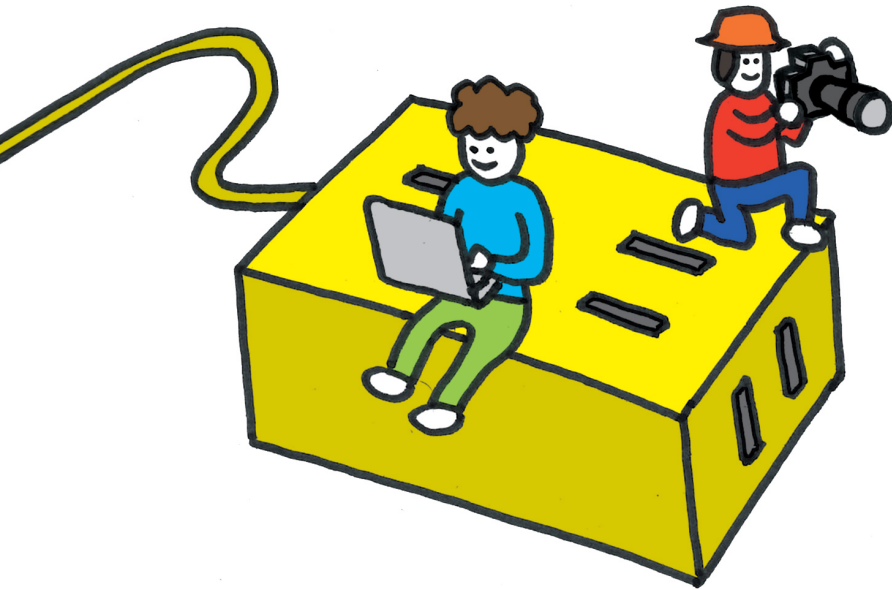
一口メモ

北須磨地区では、平成 19 年から春は「子育て」、秋は「高齢福祉」をテーマに、北須磨団地の住民やそれに関わる人たちが日々の活動を発表する「地域みんなで支え愛学習会」を実施しています。発表した人は、もう一度パネリストになることができないことが特徴の一つです。

マンネリ化することなく毎年様々な題材を取り上げることで、地域福祉の課題を広く認識してもらい、ボランティア活動への興味や関心を高めることに繋がっています。



趣味の延長なら協力的





趣味や得意分野を活かした地域活動

垂水区 高丸ふれあいのまちづくり協議会

組織のメンバーやイベント参加者に

得意分野で運営の協力依頼すると

意欲的に地域活動に関わってくれる

一口メモ

高丸ふれあいのまちづくり協議会 [以下ふれまち] では、年 4 回発行している広報紙について、パソコンが得意な方が紙面のデザインからデータ入稿まで制作してもらえるようになりました。これに併せて、制作して下さる方も、以前より主体的にふれまちの活動に関わってもらえるようになりました。

また、以前はモノクロ印刷でしたが、データ入稿まで自ら制作することで、カラー印刷に変更してもより経費を安くすることができました。



定年後は地域のシゴト





退職世代に地域活動に参加してもらおう

垂水区 つつじが丘ふれあいのまちづくり協議会

60代の退職世代に

興味のあるイベントを実施すると

地域活動に参加する人が増えた

一口メモ

つつじが丘では、認知症の見守り活動や防災訓練を取り入れた「つつじこまつり」など、多様な地域活動が行われています。

この地域は開発から 40 年経過したオールドタウンで、少子高齢化の問題を抱えながらも、ふれあいのまちづくり協議会 [以下ふれまち] のメンバーは“できる人ができる時に”をモットーに地域活動を実践されています。

そんな折、60代後半の方々に、ふれまちの仲間に入ってもらいたいとの思いから、みなさんの関心が高いゴルフコンペを開催したところ、期待どおり多くの方が参加してくれました。そこから交流が生まれ、現在では、その参加者が、地域の防犯・防災パトロールの中心的な役割を担っています。

